

精神保健福祉士国家試験受験資格について

人間福祉学科では精神保健福祉の援助技術を習得して精神保健福祉専門職に就くことを希望する者のために、精神保健福祉士国家試験受験資格の取得に必要な指定科目を開講している（下表「指定科目との対比表」参照）。

上記受験資格取得希望者は、以下の条件を充足することが求められる。

【指定科目との対比表】

() は単位数

| 指 定 科 目 | 人 間 福 祉 学 科 の 科 目 |
|---|--|
| 1. 人体の構造と機能及び疾病、心理学理論と心理的支援、社会理論と社会システムのうち1科目 | 「人体の構造と機能及び疾病」(2)、「心理学」(4)、「社会学」(4)のいずれか1科目以上 |
| 2. 現代社会と福祉 | 「現代社会と福祉」(4) |
| 3. 地域福祉の理論と方法 | 「地域福祉論」(4) |
| 4. 福祉行財政と福祉計画 | 「福祉行財政と福祉計画」(2) |
| 5. 社会保障 | 「社会保障論」(4) |
| 6. 低所得者に対する支援と生活保護制度 | 「公的扶助論」(2) |
| 7. 保健医療サービス | 「保健医療サービス」(2) |
| 8. 権利擁護と成年後見制度 | 「権利擁護と成年後見制度」(2) |
| 9. 障害者に対する支援と障害者自立支援制度 | 「障害者福祉論 A」(2)、「障害者福祉論 B」(2) |
| 10. 精神疾患とその治療 | 「精神医学」(4) |
| 11. 精神保健の課題と支援 | 「精神保健学」(4) |
| 12. 精神保健福祉相談援助の基盤(基礎) | 「相談援助の基盤と専門職」(4) |
| 13. 精神保健福祉相談援助の基盤(専門) | 「精神保健福祉援助技術総論」(2) |
| 14. 精神保健福祉の理論と相談援助の展開 | 「精神保健福祉援助技術各論」(4)、「精神科リハビリテーション学 A」(2)、「精神科リハビリテーション学 B」(2) |
| 15. 精神保健福祉に関する制度とサービス | 「精神保健福祉に関する制度とサービス」(4) |
| 16. 精神障害者の生活支援システム | 「精神障害者の生活支援システム」(2) |
| 17. 精神保健福祉援助演習(基礎)* | 「精神保健福祉援助演習(基礎)」(1)★ |
| 18. 精神保健福祉援助演習(専門)* | 「精神保健福祉援助演習(専門)A」(1)★、「精神保健福祉援助演習(専門)B」(1) |
| 19. 精神保健福祉援助実習指導* | 「精神保健福祉援助実習指導 A」(1)★、「精神保健福祉援助実習指導 B」(1)、「精神保健福祉援助実習指導 C」(1) |
| 20. 精神保健福祉援助実習* | 「精神保健福祉援助実習」(6) |

*印：これらの科目の履修者の決定のために、2年次に選考試験を実施する。

また、入学時から2年次秋学期修了までのGPA (Grade Point Average) が別に定める基準を満たしていなければ、3年次以降、これらの科目を履修することはできない。

★印：「精神保健福祉援助実習」の履修者は、3年次秋学期修了までにすべての講義科目の指定科目と★の単位を修得したものに限る。

注1) 社会福祉士と精神保健福祉士の受験資格（どちらか一方または両方）を希望するものは、受験資格に必要なすべての科目を対象学年開始年次に履修・修得していなければならない。

注2) 「精神保健福祉援助実習」の実習費は、精神保健福祉援助実習履修年度の4月に一括して徴収する。

117W

116W